

サイトバンカ建屋 地下水流入対策

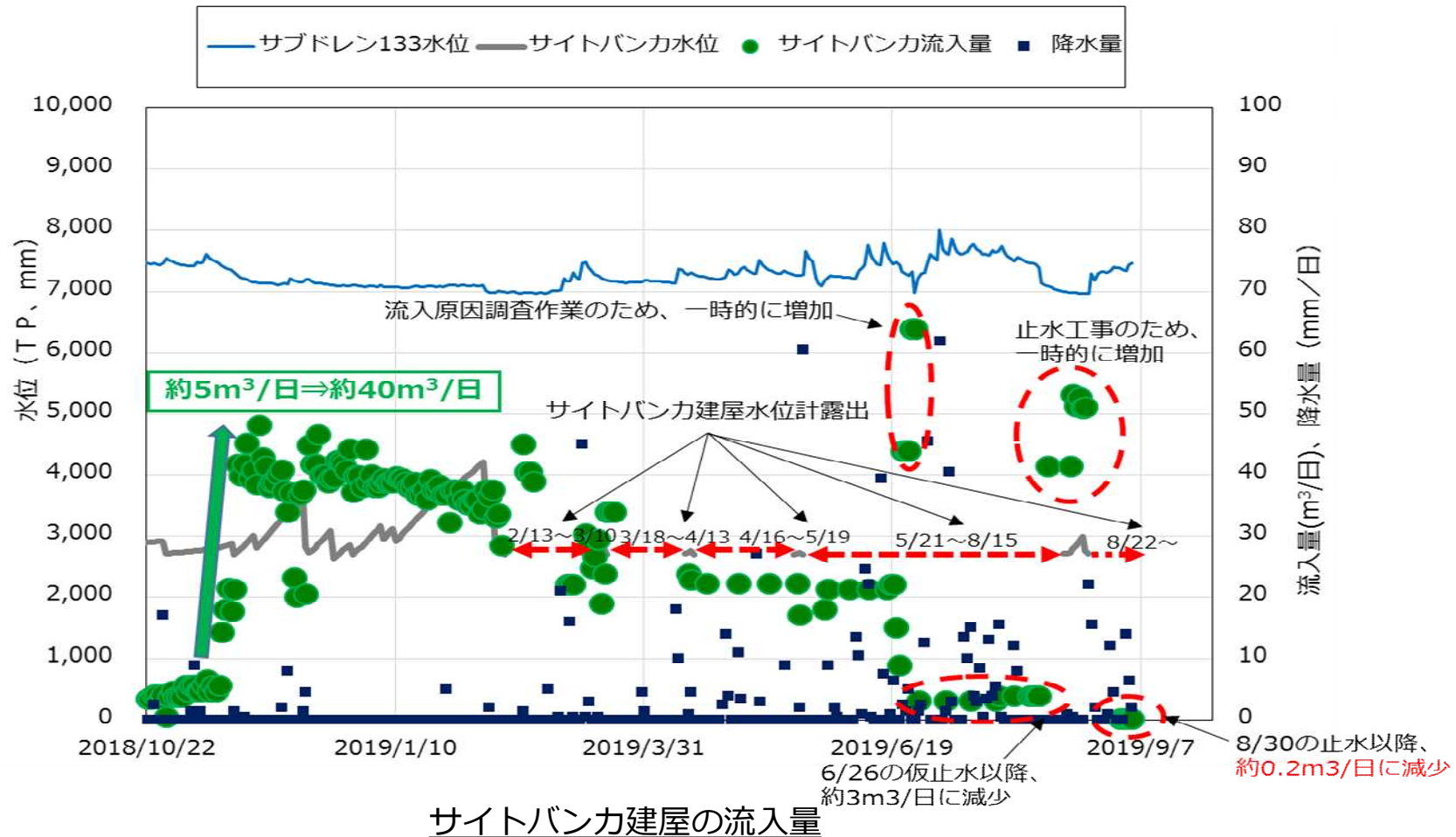
2019年 9月 26日

TEPCO

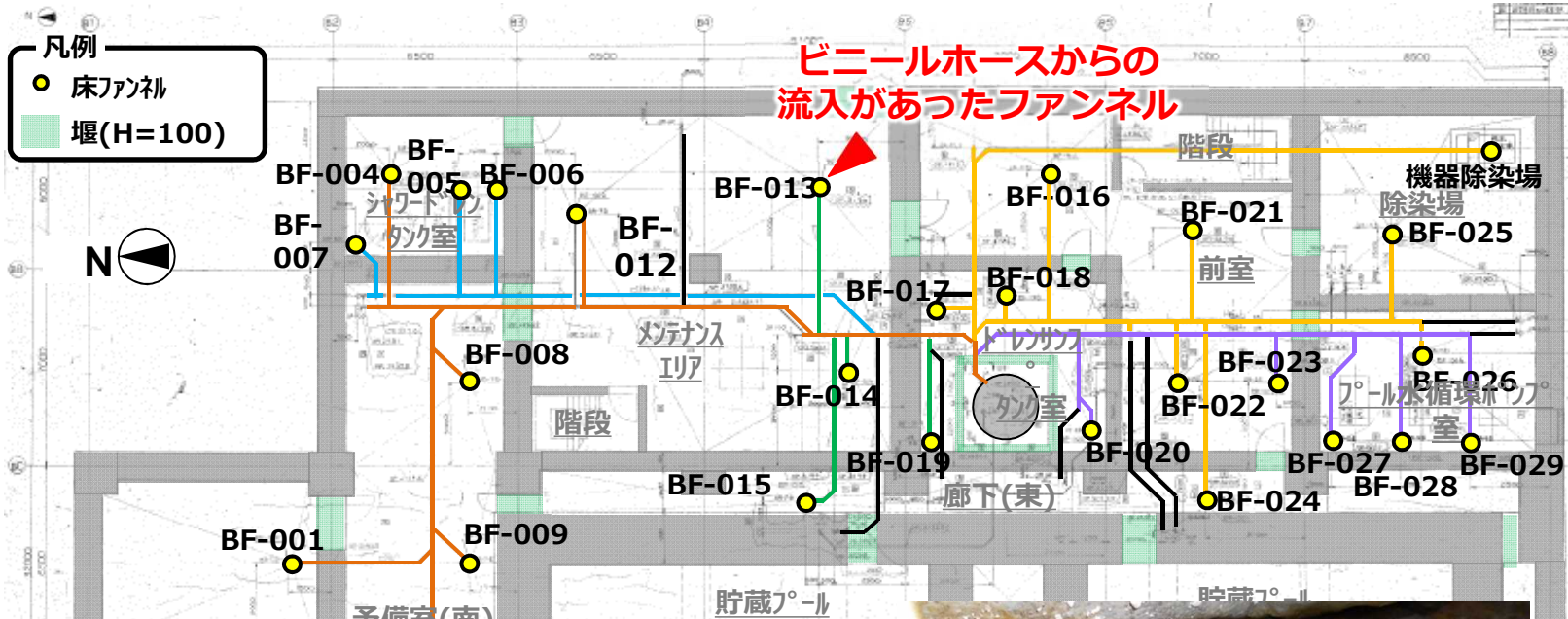
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. 止水対策結果 (1/2)

- 2018年11月から増加していたサイトバンカ建屋の流入については、流入元であったビニールホースの内部に止水対策を実施し閉塞及び地下水の流入がないことを確認した。(2019年8月30日実施済み)
また、後日に建屋内の流入量の確認を行った結果、約0.2m³/日程度に減少しているのを確認した。



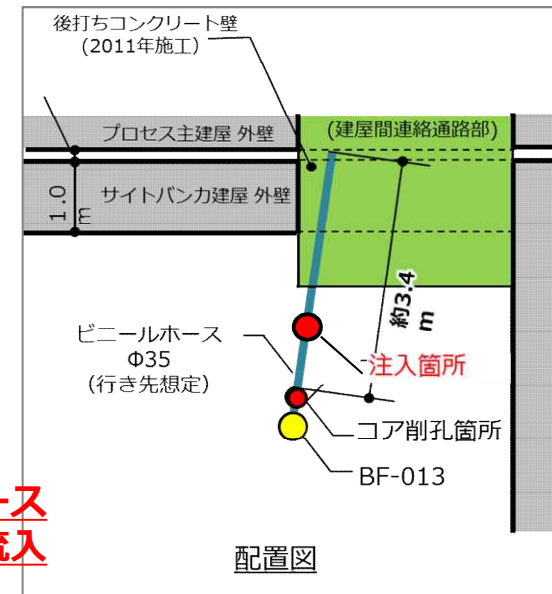
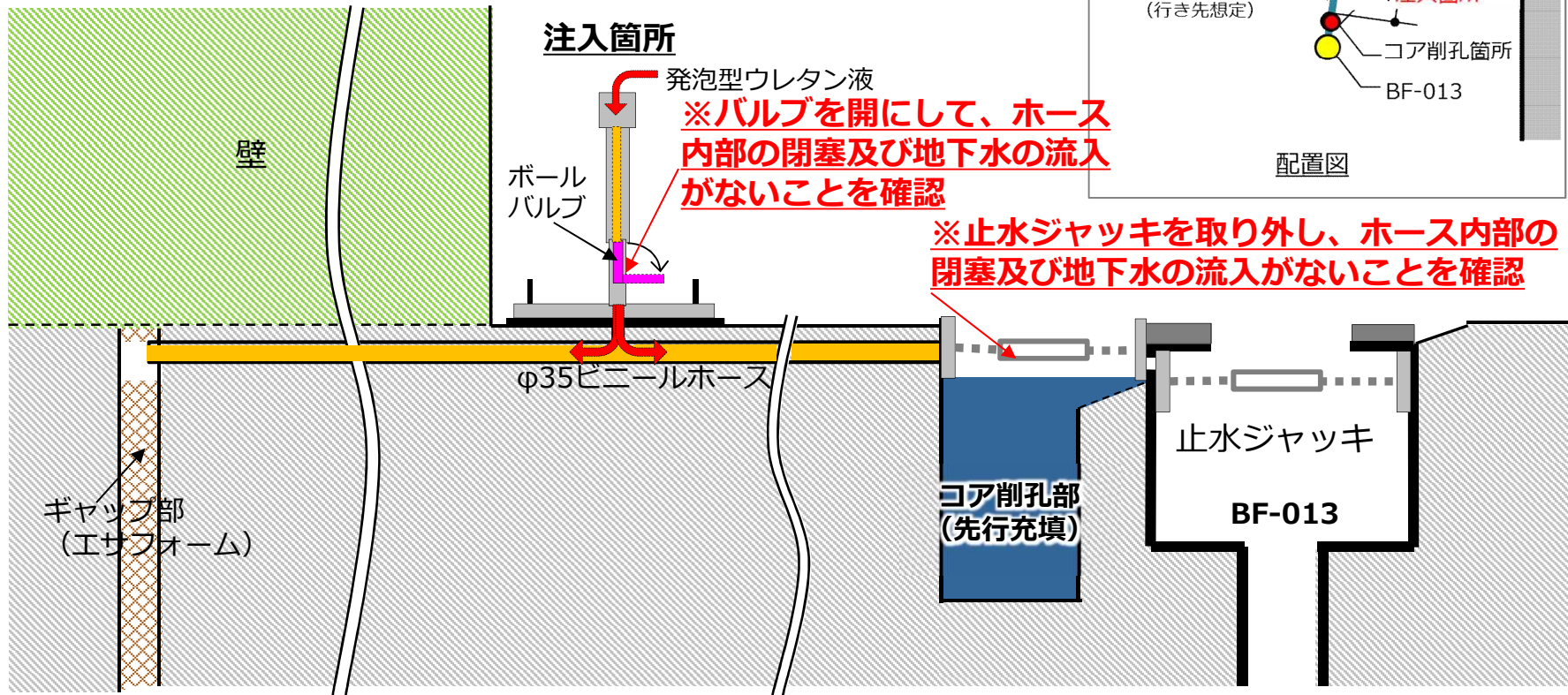
1-2. 止水対策結果 (2/2)



地下1階平面図

2.施工状況

- 注入箇所から発泡性ウレタン液を注入し、数時間後、コア削孔部の止水ジャッキを取り外し、ホース内部が閉塞していること、地下水の流入がないことを確認。
- 後日、建屋内の流入量を確認したところ、約0.2m³/日程度に減少していることを確認。



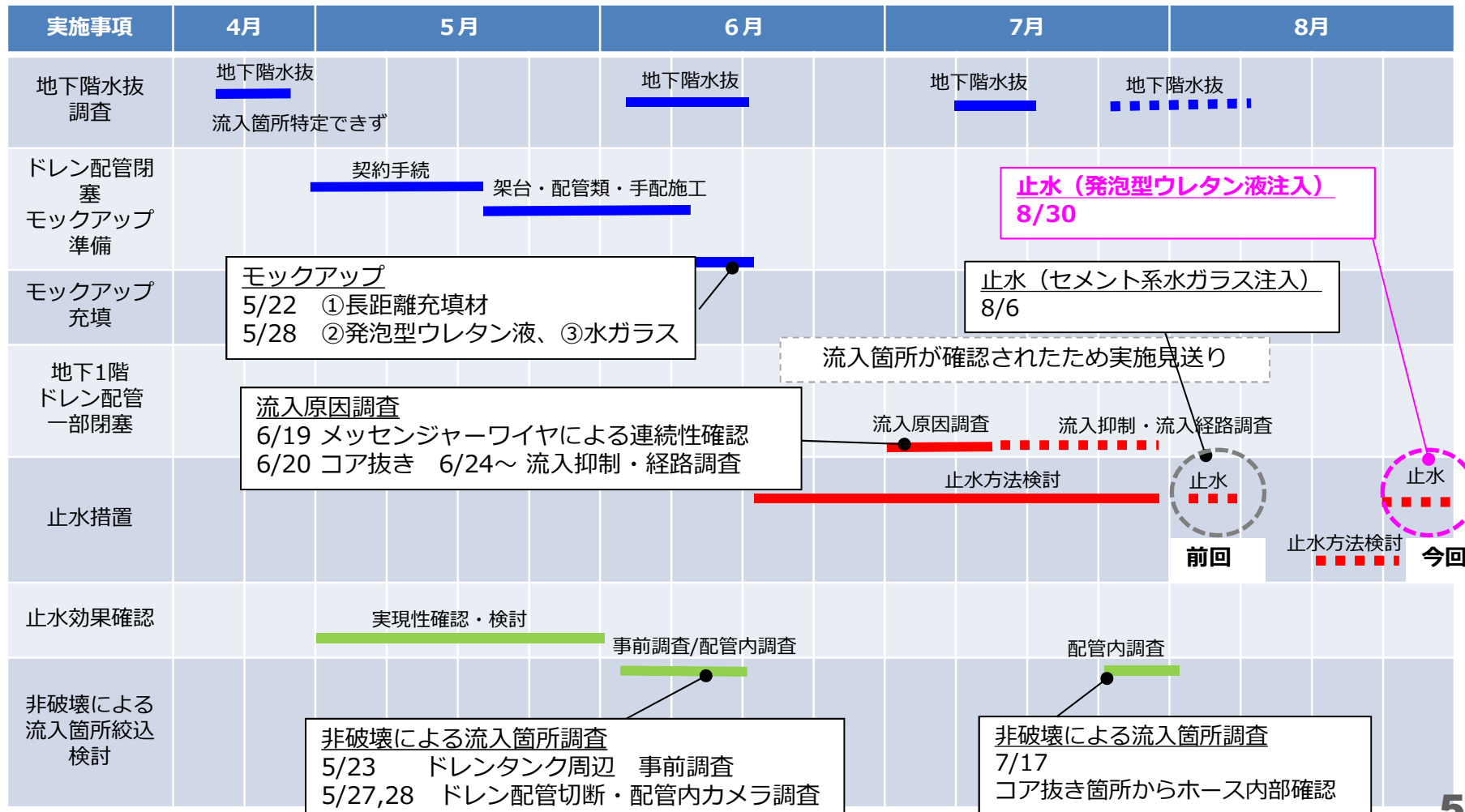
3.施工状況写真 (2019.8.31 止水材による閉塞)



* 今後流入量の監視を行っていく

(参考) 対策スケジュール

- 地下1階ドレン系統の配管の一部を閉塞することで系統を分断し、流入箇所を絞り込みを行うことを計画していたが、流入箇所が特定されたことから、ドレン配管の一部閉塞の実施は見送り。
- 流入経路に埋設されたホース発見、内部のカメラ調査を実施し建屋間ギャップ部まであることを確認。
- 8月30日に再注入を行い止水完了。



(参考) 流入箇所調査

■ 流入箇所調査

6月19日 (水)

メッセンジャーワイヤにより孔の連続性の調査を実施。ファンネル中心部から約3.5m (建屋外壁面付近まで) の連続性を確認。

6月20日 (木)

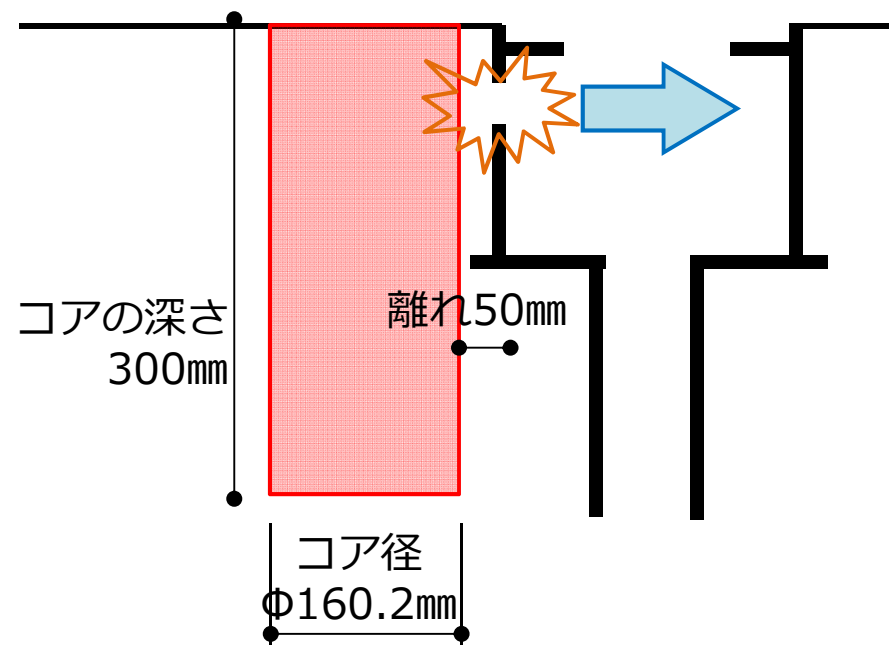
ファンネル近傍にコア抜きを行ったところ、流入孔に繋がるビニールホースを確認。



浸水方向

コア抜き

コア抜き箇所



コア抜き断面概略図

■ コア抜き調査

流入箇所の床ファンネルから外壁へ向けビニールホース（径35mm程度）が埋設されており，当該ホースを経由して水が出ていることを確認。

当該ホースの設置目的，経緯等については不明。床ファンネル側面の孔についても，このホースを接続するために加工したものと推測。



コア抜きの様子

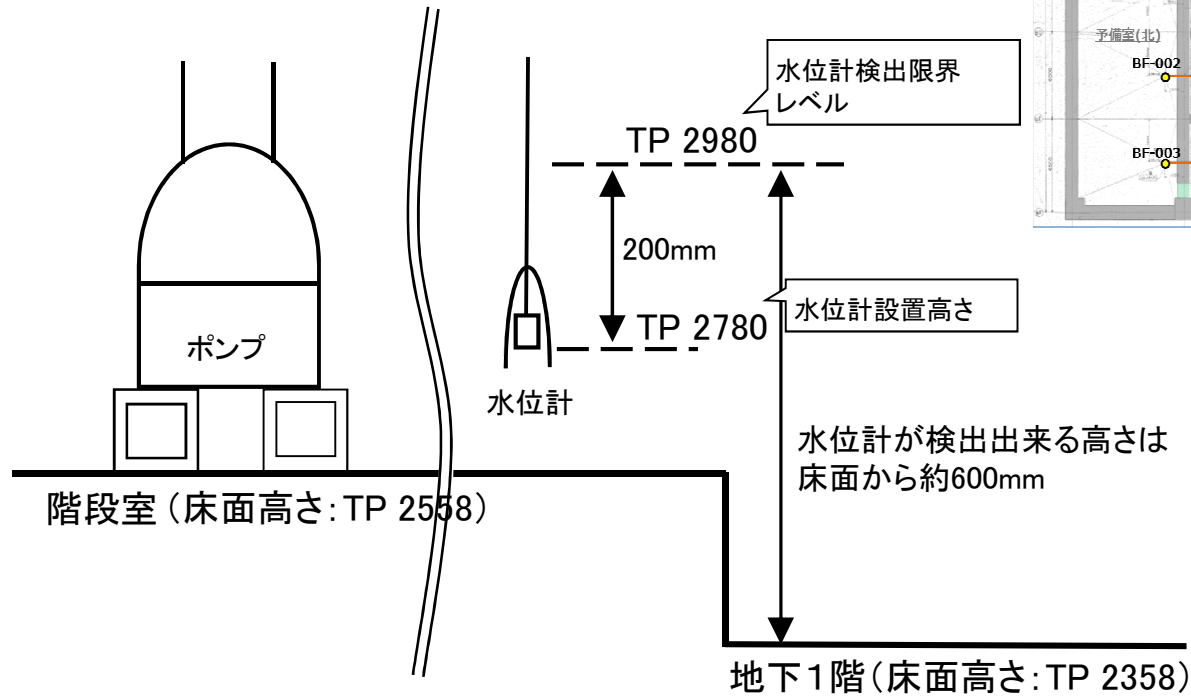


取り外したコア

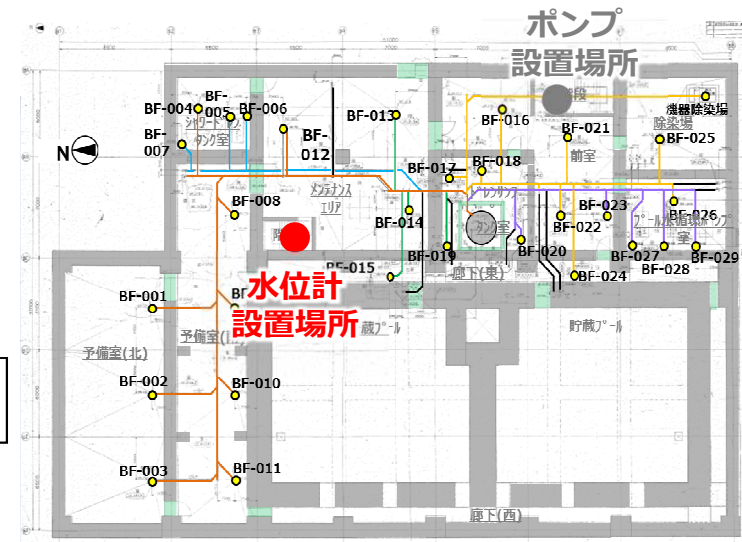


ビニールホース外観

(参考) サイトバンクカ建屋ポンプ 水位計設置概略図



水位計設置概略図



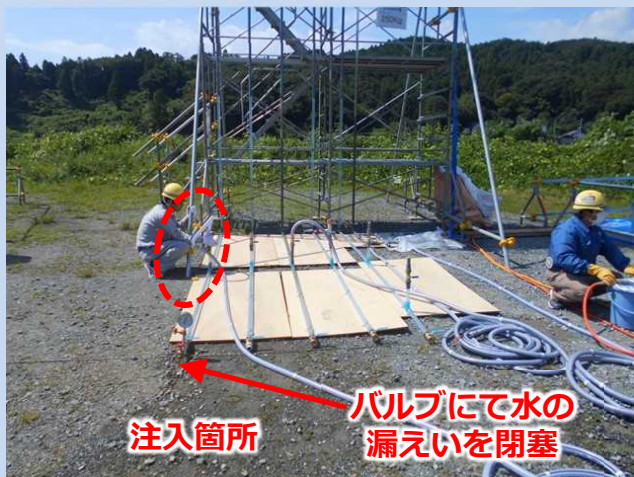
地下1階平面図

(参考) モックアップ (8月24日)

漏水経路を現場を模擬※した漏水経路に充填剤を注入し配管内部の閉塞を確認。

(※配管内部の劣化状況とギャップの空間状況、注入箇所のパレート状態は再現不可)

【水ガラス充填】



【発泡型ウレタン液注入】

